

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### 満期保有目的の債券

購入時の取得価額によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額の差額について重要性に乏しいため、適用しておりません。)

#### (2) リース取引の処理の方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	652,044,962	—	152,481,600	499,563,362
投資有価証券	347,955,038	152,481,600	—	500,436,638
合 計	1,000,000,000	152,481,600	152,481,600	1,000,000,000

### 3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	499,563,362	(499,563,362)	—	—
投資有価証券	500,436,638	(500,436,638)	—	—
合 計	1,000,000,000	(1,000,000,000)	—	—

### 4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券 (国債)			
第 310 回利付国債 10 年	99,106,580	104,030,000	4,923,420
第 61 回利付国債 20 年	99,746,315	106,562,100	6,815,785
第 62 回利付国債 20 年	99,855,643	105,525,800	5,670,157
第 157 回利付国債 20 年	152,481,600	148,448,000	△ 4,033,600
第 10 回利付国債 30 年	49,246,500	55,420,000	6,173,500
合 計	500,436,638	519,985,900	19,549,262